

## 政策7 人口減少に対応するための リーディングプロジェクト

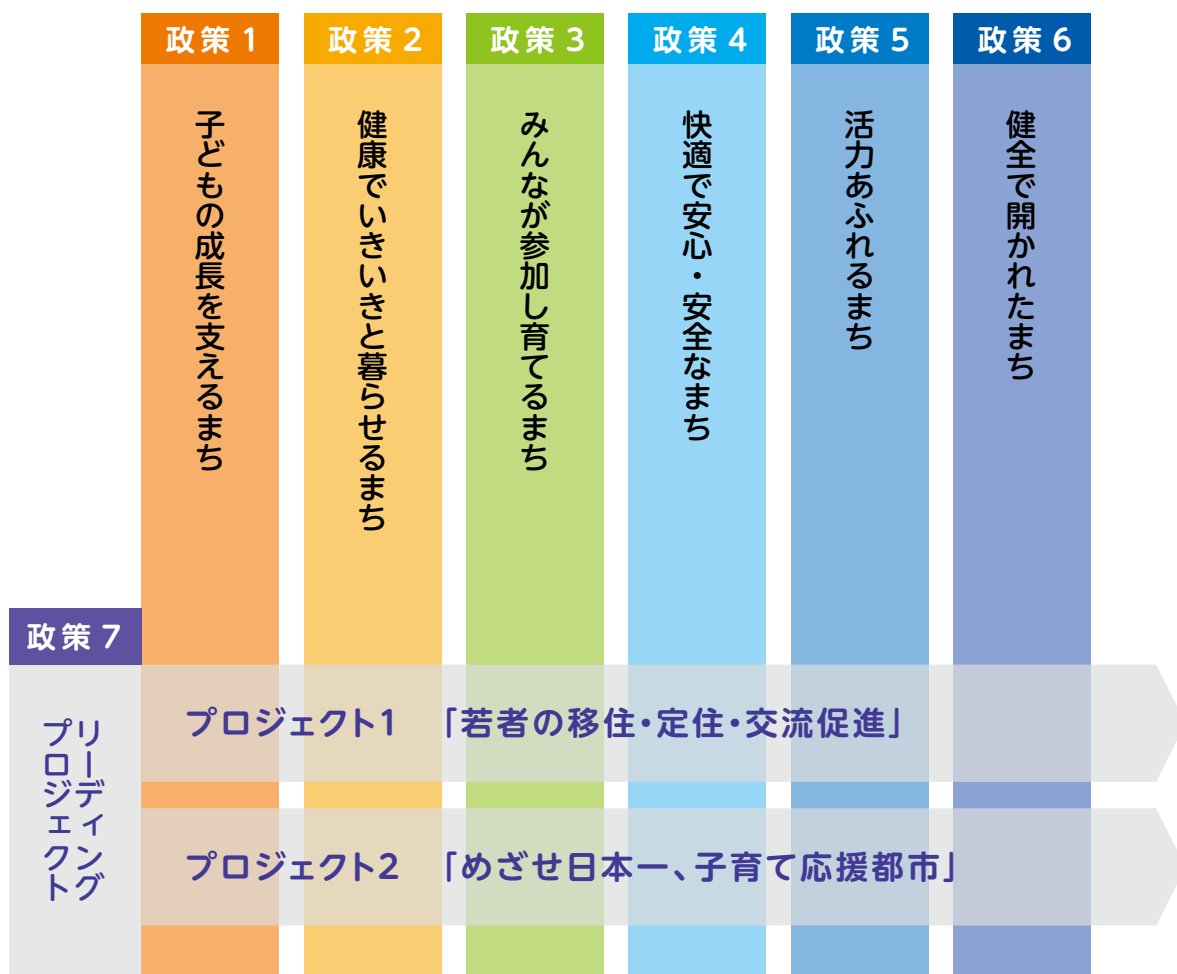
プロジェクト1 「若者の移住・定住・交流促進」

プロジェクト2 「めざせ日本一、子育て応援都市」

# 7 人口減少に対応するためのリーディングプロジェクト

## ■基本方針

今後も続く人口減少に対応していくために、各政策・施策に示した重点事業とそれを補完する新規事業とを総合的にひとつの政策と捉えて「リーディングプロジェクト」に位置づけ、実効性を高めます。



プロジェクト1 「若者の移住・定住・交流促進」



若い世代の希望に合った住環境を整備・提供するとともに、同居・近居を希望する人や新婚・子育て世帯に対して効果的な支援を行い、「住みたくなるまち・住み続けたいまち」としての魅力を高めます。雇用機会が創出される環境を整え、若い世代の転出抑制・転入促進を図ります。

成果指標

| 指標名                | 区分 | 現状値                 | 目標値 | ねらい                                                |
|--------------------|----|---------------------|-----|----------------------------------------------------|
| 25歳から34歳までの女性mGAP* | 成果 | —                   | ➔   | シティプロモーション地域内メインアプローチ対象*のまちに対する推奨・参加・感謝の意欲を向上すること。 |
| 25歳から34歳までの女性の社会増減 | 成果 | -40人<br>(H30-R2平均値) | 0人  | シティプロモーション地域内メインアプローチ対象*が住みたいまちと思う状況を創ること。         |

移住・定住・創業希望者への支援

- 本市の魅力伝える場所等へのアテンドツアーの実施や、移住に係る相談窓口の一元化、お試し移住支援に取り組みます。
- 創業した人または希望する人に対し、インキュベーション\*施設等の環境を整備し、スタートアップ\*全般に係る支援を行います。

&green プロジェクト（“みどり” とともにある暮らしの魅力向上）

- シティプロモーション\*コンセプト「&green（アンドグリーン）」に象徴される“みどり” とともにある暮らしの魅力をより向上し、WEB・SNS\*等を活用して情報発信をすることにより、若者のまちへの愛着やまちづくりへの参加意欲を高めます。
- まちの魅力の表出・地域経済活性・農業支援・新たなコミュニティ創出・環境保全・教育・防災等、多様な側面で効果的であり、全庁横断的に活用可能な屋外マーケットについて、開催・運営支援を行います。
- 市内での創業や開業といった経済的な活動や、地域資源である“みどり”をはじめとした公共空間の市民による利活用や管理等といった地域での活動を通して、地域を支える若い担い手の育成や支援を行うとともに、多世代の交流活動を活発化します。

I 序論

II 後期基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

第2期北本市まち・心と・しごと創生総合戦略

資料編

### 生活に合わせた居住空間の整備

- 雑木林・里山空間の保全・活用を行うとともに、効果的に“みどり”を配置し、市内の居住空間全体の価値を高めます。
- 民間企業等とともに、中古住宅や空き家・空き店舗等、建築物の構造である「スケルトン」ではなく、内側の居住・生活空間である「インフィル」を自在に更新し、若者の生活形態に合わせた居住空間やオフィス・店舗を生み出します。

### “グリーン”な取組の促進

- 気候変動や過剰なエネルギー消費、森林の持続可能性等、地球の存続に関わる問題を身近な自分事として捉える若者は多く、循環型のオフグリッド\*な取組を進めることで、地域の環境を守っていきます。
- 林床管理により森林の育成を助け、人為と自然が相互に作用し合うことで、自然の多様性の維持・再生を図ります。
- 食品、エネルギー等のあらゆる資源の循環を念頭に置いたサーキュラーエコノミー\*の推進に取り組みます。

### 新たな経済活動の創出や働きやすい環境の整備

- テレワークやコワーキング\*の推進を通して、働きやすい環境を整えるとともに、新たな経済活動の創出に取り組みます。
- 就労について、市内企業等と若者とのマッチング支援を行います。

### 地域産業〈産品〉の洗練化

- 商・工・農業者の高度の熟練や洗練された技術を生かした地域産品の流通等、ふるさと納税の取組を通して事業者の支援を行います。
- 商・工・農業者の連携することのできる交流機会をつくります。

### 本市の重層的な歴史・記憶を生かす

- 本市の歴史・文化を、持続可能なまちづくりの象徴、本市の暮らしやすさのバックボーンに据え、民間企業等と連携したWEBサイトでの情報発信、歴史・文化体験イベント、歴史・文化関連商品やふるさと納税返礼品の開発・採用等の取組を通して、住民のまちへの愛着向上を図るとともに、市外へのPRを積極的に行います。

プロジェクト2 「めざせ日本一、子育て応援都市」



若い世代が安心して結婚・子育てができるよう、地域で支えていく仕組みを作るとともに、医療・保育サービスの充実を図ります。これまで注力して取り組んできた子育て環境・教育環境の整備をさらに強化し「子育てに優しいまち」として若い世代の定住化を図ります。

成果指標

| 指標名 | 区分 | 現状値  | 目標値  | ねらい                          |
|-----|----|------|------|------------------------------|
| 出生数 | 成果 | 340人 | 380人 | 安心して子どもを産み育てることができる環境を整えること。 |

“子育て”と“働く”の両立

- 子育て世帯が働く上で必要不可欠な「学童保育（放課後児童クラブ）」、「放課後子ども教室」とともに、既存の学校施設等を徹底的に活用し、放課後や長期休暇中でも子どもが安心して過ごせる施設の整備を進めます。
- ステーション保育事業を充実し、電車で通勤する人の利便性を高めます。
- リモート等により在宅ワークを行う子育て世帯が、子育てと保育を両立することのできる環境を充実します。

子育て中の人への就労支援と職住近接の推進 ～“隙間時間”を工夫して～

- フルタイムで働くことを希望する人だけでなく、子育てをする時間の“隙間”にパートタイムで働くことを希望する人が増えているため、子育て中の人と企業との就労マッチングに取り組みます。
- 多様な働き方実践企業の認定事業所数の増加を図り、子育て中の人働きやすい環境の整備を進めます。

質の高い保育環境の整備

- グリーン社会の実現を目指し、メンテナンスを最小限とするとともに複合施設としての利用を可能とする設計を行う等、安全性や機能性を重視した新たな保育所を整備します。
- 市内の保育人材について、処遇改善を図るとともに確保に取り組みます。

子育て世帯への心理的・経済的負担の軽減

- コロナ禍等を要因として孤立する子育て世帯が相談しやすい環境をつくります。
- 地域全体で子育てを支えるため、児童館、地域子育て支援拠点のほか、子育てを支援する民間団体等によるネットワークを形成します。
- 市とボランティアやNPO、地域活動団体等とによる重層的な支援体制により、子育てに不安を抱える方の早期把握・早期支援に取り組みます。

I 序論

II 後期基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

第2期北本市  
まち・心・しごと  
創生総合戦略

資料編

### 地域における学習体験

- 地域資源を活用して子どもの学習の機会と保護者同士のコミュニティの場をつくり、子どもの発達を支えるとともに、子育てにおける孤立や地域における関係の希薄化の解消を図ります。

### 学び、遊び場の充実

- 市内に点在する雑木林や公園等において、自然を活用した遊びのプログラムを充実し、子どもの健やかな成長を支えます。
- 公共施設等の既存ストックを活用して、スポーツ・文化・教育活動等を行う場を整備します。

### 安全・安心な環境の整備

- 防犯活動の充実を図ることや、身の回りに内在するあらゆるハザードの除去に取り組み、子どもと保護者が安全に安心して生活できる環境をつくります。
- スポーツ等を通して防災を学ぶプログラムを提供し、災害時に自発的に行動することのできる子どもを育みます。